



東中だより

No. 11 令和8年 2月27日(金) 余市町立東中学校 発行

校訓…「進取」「利他」

学校教育目標

- 自律…自ら考え判断し行動する
- 尊重…多様性を受け入れ対話し解決する
- 創造…豊かな発想で新たな価値を生み出す

竹原市との交流イベント

校長 明村 秀之

2月には悪天候による臨時休業が2回ありました。2月19日は風が強く、降雪量としてはそんなに多くはないものの、強烈な吹き溜まりがあちこちにてできていました。私の自宅の裏道も腰の高さの吹き溜まりが15mほど続いており、徒歩でも車でも通ることは困難でした。毎年吹き溜まりができる場所ですが、規模が大きかったので驚きました。その後は気温の高い日が続く、雪解けが加速しています。春の訪れが例年より早くなるのはうれしいですが、これも異常気象の一つなのだろうか、少々不安にもなります。

さて、学校は一年のまとめの時期となりました。3年生は受験期が続いており、3月4日は公立高校学力試験、3月5日は公立高校面接試験となります。前号では模擬面接での生徒の様子をご紹介しましたが、その後に面接練習を受けた生徒たちも自分の思いを伝えようと頭をフル回転させて言葉を選びながら取り組んでいました。高校でやりたいこと、将来やってみたいこと、夢や目標を持っている生徒たちの話は胸に響きました。ちょうど冬季オリンピックが行われていましたが、それぞれの選手たちが夢や目標に向かって努力を続けていることと重なりました。3月17日は公立高校合格発表日です。笑顔があふれることを願うばかりです。

2月24日から広島県竹原市立竹原中学校3年生が作成した竹灯籠を余市駅前と本校玄関前に飾りました。2年生が作成した雪だるまなどと一緒に飾り、LEDライトやろうそくで灯りを照らすことで美しい情景となりました。予定では雪明かりの路イベントの時期にやりたかったのですが、悪天候による臨時休業で2回とも延期となり、この時期になってしまいました。日

程がずれてしまいましたが、教育委員会の方や観光協会の方にもお力添えいただき、実現することができました。ありがとうございます。



竹原中学校の3年生が作成した竹灯籠は、今年の10月25日～26日に行われた「憧憬の路(しようけいのみち)」で飾られたものです。電動ドリルで複数の大きさ

の違う穴を開け、それぞれに独創的な模様となっています。中から照らす仕組みとなっていて、夜になると幻想的な雰囲気となります。

本校2年生のなかには、自分たちも作ってみたいという声がありました。交流を次年度以降も深めていく予定ですので、今後検討していきます。3月16日には2年生がオンラインで交流



します。お互いの地域のことを紹介しあい生活文化の違いや歴史などを知ることができればと考えております。遠く離れた

地でありながら北前船での交易した歴史と、ニ



ッカウキスキー創業者：竹鶴政孝氏の故郷であるご縁から、令和の時代に新たな交流が広がっていくのが楽しみです。

北海道教育実践表彰(若手教職員等奨励賞)

笹山 琴未 養護教諭

本校の笹山琴未養護教諭が令和7年度北海道教育実践表彰(若手教職員等奨励賞)を受賞しました。養護教諭としての保健室運営はもとより、性に関する授業実践、心の教育相談などの実践が高く評価されました。余市町では、後志管内教育実践表彰2名、北海道教育実践表彰2名の計4名が受賞となりました。日々の実践に敬意と感謝を表します。

